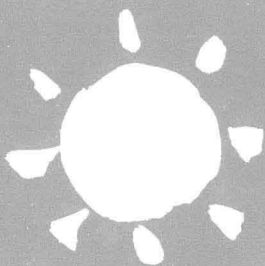


日本作文の会編

日本の 子どもの詩

宮崎





日本作文の会編

日本の
子どもの詩

宮崎

岩崎書店

日本の子どもの詩 45 宮崎

一九八三年六月二五日 初版発行

編者 日本作文の会

発行者 大川松利

印刷所 株式会社 K・M・S

株式会社 金羊社

製本所 小高製本工業株式会社

発行所 岩崎書店

東京都文京区水道一、九、二
電話(03) 八二二九二三一(代)

はじめに

各都道府県別につくられた四十七冊のこの本ゼンたいには、一九一八年「赤い鳥」が創刊されてからあとの六〇年間につくられた、日本の子どもの詩のおもなものが、年代順にならべてあります。

これらの詩は、そのときどきによって、児童自由詩、童詩、児童詩、児童生活詩、生活童詩、生活綴方の詩などもよばれ、世界にもまねなものとあります。

これらは、ねっしんな先生たちによる創造的な教育のいとなみとしてうまれたものですが、日本の子ども自身がつくரிだした芸術（現代の子どもの「わらべうた」）としても、大きな意味があります。

わたくしたちは、このことを頭において、念入りにこの本をつくりました。

この一冊は、そのうちの「宮崎編」であります。どうぞ、ひとつひとつていねいにお読みください。

もくじ



1918
～
1945

8

すずめとかがし
私のきく

あの人

9

桑がぎゅうとまがった
よちゃん

べったんこ

ヒコウキ

10

ニワトリ

ジドウシャノアト
山ノ上ノクモ

11

ソトデ
とう番

雨あがり

12

ぐみ
農夫

おもちつき

うれしい

13

おみやげ
ぶらんこ

14

ヒヨコ
キシヤ
カゼ
ミカン

草のめ

15

きしやなんご
あかちゃん

テッポウ

16

あぜ道
つばき

ひんしつ

あめふり

17

うちの馬
オ月サマ

海

すべりだい

18

川
こじの木

おとうさん

五ヶ瀬川

ひなたぼっこ

青蛙

秋の夜

ゆずの実

20

はみきり
春

枯草

鉄砲うち

21 日向

はる

まつの木

22 水たまり

手工

なみ

雲

23 えだがゆれる

はたる

むぎかり

うまのこ

24 えんそく

魚とり



1945
~
1959

26 いもうと

ちちうし

あまだれ

27 ぼくは一円玉

よしこちゃんの顔

虫くだしのみ

28 となりの犬

29 しんけい

しくだい

30 雨ふり

父が言ったこと

31 アルバム

停電

牛つかい

にんぎょうあそび

32 おとうさん

かみしばい

33 カメラ

けんか

34 ちちをのむ

雨

35 車のあとおし

大りよう

36 さかおし

旅行の思い出

くつにうつった字

37 ちちしぼり

えきのけしき

38 せんとく

おこられた

いねかり

もず

39 らっかせいむき

40

夕ごはん

いねかり

夕がた

41

ちぢぐさうえ

牛のせり

42

大根をする

とおくの山

いぬ

43

ほうしゃのう

とうちゃん

おやうし

44

おもちつき

雪

45

ねえちゃん

とけい

46

父

けんか

47

おかあさんのしごと

48

クレヨン

おとうさん

ひあたり

49

母の針仕事

わらしぎ

ばあちゃん

50

子供

紙工場

51

かさ

父の手

52

賞状もらい

54

ちようちよ

にわとり

ねえちゃんのはな

55

先生

めじろの声

56

ねこ

ぶた

57

おかあさんのでんわ

わらし

村長さんにおねがい

58

思った事

友だち

59

今じゃ、ぜんぜん

馬

60

すずめ

犬の子

61

算数の宿題

うおいちば

62

おとうさん



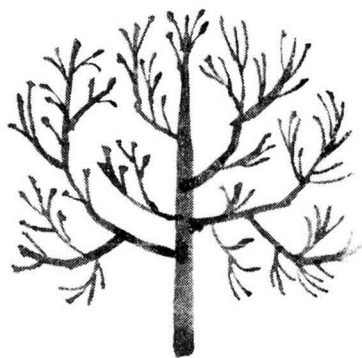
1960
～
1969

73 夕やけ空
 72 母
 71 母
 70 母
 69 母
 68 母
 67 母
 66 母
 65 母
 64 母
 63 母

84 中武先生
 83 中武先生
 82 中武先生
 81 中武先生
 80 中武先生
 79 中武先生
 78 中武先生
 77 中武先生
 76 中武先生
 75 中武先生
 74 中武先生



1970
~



1918~1945

(大正7年)

(昭和20年)

ここからあとには

* 日本の子どもの詩がうまれはじ
めたころ。

* それが、ぐんぐんとよいもの
になっていったころ。

* おおきな戦争のために、せっ
くの子どもの詩がおとろえるま
でのころ。

こんなころのこの県の詩が、年
代の古いとおもわれるものから順
にならんている。

すずめとかがし

かがしが立った
にらんだかがし
すずめはにげる
しゃべってにげる
かがしの着物は
あかい着物
すずめはおどけて
にげている
かがしはくる目で
にらんでる。

私のきく

私のきくは
毎日毎日笑^{わら}ってる
私がお水をやりますと

井上正信 小3

東臼杵郡岡富校

清水香子 小3

にこにこ笑って

すいますよ

きくさんきくさんなぜ笑う

そんなに笑えば

うまいのか。

あの人

私はあの人知ってます。

私が入院してる時、

一しよに入院してました。

私は退院したけれど、

まだまだ入院してました。

あの人、道を通るとき、

赤ちゃんおぶって通ります。

私を見ると笑います。

しづかにやさしく笑います、

ほほは赤くてふくらんで、

やさしい顔をしています。

都城市大王校

高森通夫 小5

東臼杵郡東郷校

桑がぎゅうとまがった

一万田 摩 小 6

からすが桑畑にとんで来た。

桑がぎゅうとまがった。

あわてたからす。

南那珂郡大堂津校

よちゃん

矢部照子 小 1

うちのよちゃん

かぜに おそろしがつて
おずかつてなきます

わたしが

かぜに ふきよらんも

という

ゆびで 木のはをさします

南那珂郡北郷校(指導)今村十三郎



9

べったんこ

吉井己義 小 1

べつたん(シーソー) あがつた

べつたん さがつた

おもしろい

いえが みえる

いえが みえる

いえの むこうに

もりが みえる

東臼杵郡土々呂校(指導)木村寿

ヒコウキ

白井寿雄 小 1

ヒコウキ

ハヤイナ

ウナリヲ

タテテ

ピカピカ

ハヤイ

アオゾラニ

ヒカッテイク

クモノナカニ

ハイリ ハイリ

ハヤイ

東臼杵郡岡富校

ニワトリ

ウチノ トナリノ ニワトリ

アメノ フルトキ チヂコマル

エサヲ ヤルト ウレシガル

ボクト イモウトト

ミテイルト

ニワトリ ボクタチ

ミテイルヨ

渡邊 通 小1



東臼杵郡岡富校

ジドウシャノアト

真武 静丸 小1

ジドウシャガ

ハシッテイク

ジドウシャノアトカラ

ホコリガ

ポツポツト

アガリマス

東臼杵郡岡富校

山ノ上ノクモ

斎藤 一 小1

クモガ ヤマカラ

ポツンポツン デテキタヨ

マルクナツテ デテキタヨ

シログモ クログモ

一シヨニ デテキタヨ

ハズレタリ 一シヨニナツタリ

ポツン ポツン 山ノ上ニキタヨ

東臼杵郡土々呂校(指導)木村寿

ソトデ

坂本アヤ子 小1

ムコウデハ
クサバニクサガハエテ
ソヨソヨシテ
キモチガヨイ
ココデハ
マツクロイ サ克蘭ボウガ
オチテイマス
シタデハ
ミンナガ
ウツクシイジヲ
カイテイマス
モングチノシタデハ
ミンナガ
オランデカイテイマス
ワタクシハ
ダマツテカイテイマス

西臼杵郡押方校(指導)佐藤寛

とう番

小野宮子 小3

えんがわを
日のあたったえんがわを
ふいてもふいても
ひやがるばかり
ふいたあとから
すぐひやがる

東臼杵郡岡富校

雨あがり

高森通夫 中1

雨あがり、しつとりと、
みなふくれてる感じた。
なにもかも紫いろだ。
風がなく木々はみなしずかだ。
ぽとりと一直線に、
びわの葉がおちた。
夕暮の日。

宮崎市宮崎校

ぐみ

浜田ヨシエ 小5

ぐみがなっている。

まっ赤になっっている。

風が、そよそよふくと、

お祭のように、にぎやかだ。

東臼杵郡草川校

農夫

原正行 高1

広い広い田んぼに

大粒の雨がふる

黒牛とまだら牛と

茶色の馬と

人間とがはたらいている

みんな泥まみれ

人間の顔も

めったに牛の顔とかわらない

西諸方郡高原校

12

おもちつき

矢野ナツ 小5

ぺったんこ、ぺったんこ、

どこでもここでも、

おもちつき。

臼の中のおもちさん、

頭ぶたれていたかろよ。

手足ぶたれていたかろよ。

あとできれいになでてやる。

宮崎市宮崎校

うれしい

小泉光明 小2

せんせいから もらった

あたらしい えんぴつ

(けする)
ときるとき

うれしかったよ

おとうさんと おかあさんが

よろこんでくれた

はやく じを かこと

とぎった

東臼杵郡土々呂校(指導)木村寿

おみやげ

さいとうはじめ 小2

せんせい

りようから かえってきた

しき^{したき}ものを いただいたとき

うれしかった

いろの ついた しきもん

せんせいの かおに

しきもんの いろが うつつて

せんせいの かおが

うれしかったよ

東臼杵郡土々呂校(指導)木村寿

ぶらんこ

たに ゆういち 小2

ぶらんこにのって

ぐつとふむと

すうつとあがる

つなをじつとにぎっている

ぶらぶらあがる

おてんきは よいてんき

東臼杵郡土々呂校(指導)木村寿

ヒヨコ

黒木誠夫 小1

ヒヨコ ピヨピヨ

ナイテ イマス

ナヲ ヤリマシタ

ヒヨコガ エサト

アソビマシタ

東臼杵郡土々呂校(指導)木村寿

キシャ

黒木重行 小1

キシャガ トオル

ノリタイナ

キヨウノキシャハ

人ガタクサン

ノツテイル

バンザイ

人ガコチヲヲミタヨ

バンザイ

東臼杵郡土々呂校

カゼ

矢野正秋 小1

カゼガフイテ イマシタ

木ノハモ ユラユライゴキマス

ミンナ ユラユラ シテイマス

カゼガフクト

人ノキモン (きもの) モ

ハタノゴツ イゴキマス

ヒトハ (たおれるように) タラルルゴツシマス

東臼杵郡土々呂校



ミカン

吉永民男 小1

アカイミカンガ

タクサン ナツテ

キガ タオレソウダ

アカイミカンガヒカッテル

ウマカロナ

東臼杵郡土々呂校

草のめ

吉井己義 小2

土をとった道に、

草のめがならんででている。

みんなお日さまに光って、

いきをしている。

山でうぐいすのこえがする。

東臼杵郡土々呂校(指導)木村寿